学校番号	2003

平成 31 年度国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	古典Ｂ　（数研出版）古文編・漢文編						
副教材等	新精選古典文法（東京書籍）　重要古文単語３１５（桐原書店） 新国語便覧（第一学習社）　精選漢文（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生では中古、中世、近世のできるだけ様々なジャンルの文章を読み、それぞれの作品の特徴をつかみます。古文単語や古典文法の知識はもちろんですが、作品の時代背景、社会のありかたについて知ることも大切です。古語、漢語が現代語とどのようにつながっているのか、和文脈と漢文脈という２つの土台があって現代文ができていることにも理解をしてほしいと思います。予習は、本文を手書きすること、音読することです。古語辞典と漢文必携を参考にして、言葉の意味調べと書き下し文は必ず予習してきてください。正確な現代語訳は必要ですが、それが最終目標ではなく、作品世界を知ることが目的です。文章の概要をつかむための推論の力も必要です。

2　学習の到達目標

古典を読む能力を育成しつつ、作品の思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。古典についての理解や関心を深め、作品の価値について考察する。様々な作品を読み比べて、共通点や相違点などについて説明したり、課題について調べたことを文章にまとめたりする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b ：読む能力	c :知識・理解
観点の趣旨	古文漢文を理解することを通じて、言語と文化に対する関心を深め、言葉についての感性を磨き知識を深めようとしている。	古典の文章を的確に読み取る力をつけている。	伝統的な言語文化および古語漢語の理解を深め、現代語との関連について知る。
評価方法	行動の観察 記述の点検 ノート　など	記述の確認および分析 小テスト ノート 定期考査	行動の観察 小テスト ノート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	古文	『蜻蛉日記』うつろひたる菊	○	◎	○	ａ：描かれている状況をつかみ、人物の心情を表現に即して読もうとしている。 ｂ：古文特有の語法に注意しながら、表現に忠実に解釈する。 ｃ：作品の文学史的価値、作者および作品世界の個性的な面について理解を深める。	a:行動の観察 b、c:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査
1	漢文	『韓非子』侵官之害	○	◎	○	ａ：中国古代思想が、日本およびアジアに与えた影響とその思想内容について理解を深めようとしている。 ｂ：表現に忠実に解釈し、論旨を正しくつかむ。表現効果について理解する。 ｃ：漢文特有の語法、語句について正しく知る。中国古代思想の背景について知る。	a:行動の観察 b、c:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査
1	古文	『源氏物語』須磨	○	◎	○	ａ：描かれている状況をつかみ、人物の行動と心情を表現に即して読もうとしている。 ｂ：古文特有の語法に注意しながら、表現に忠実に解釈する。和歌の効果について理解する。 ｃ：作品の文学史的価値、作者および作品世界の個性的な面について理解を深める。	a:行動の観察 b、c:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査
1	漢文	『荘子』曳尾於塗中	○	◎	○	ａ：中国古代思想が、日本およびアジアに与えた影響とその思想内容について理解を深めようとしている。 ｂ：表現に忠実に解釈し、論旨を正しくつかむ。表現効果について理解する。 ｃ：漢文特有の語法、語句について正しく知る。中国古代思想の背景について知る。	a:行動の観察および 発表内容、態度。 c、d:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査

2	古文	『大鏡』 貫之と躬恒 道真と時平	○	◎	○	ａ：描かれている状況をつかみ、各人物の行動と心情を表現に即して読もうとしている。 ｂ：古文特有の語法に注意しながら、表現に忠実に解釈する。和歌の効果について理解する。 ｃ：作品の文学史的価値、作者および作品世界の個性的な面について理解を深める。	a:行動の観察および 記述確認。 b、c:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査
2	古文	『和泉式部日記』 夢よりもはかなき世の中	○	◎	○	ａ：描かれている状況をつかみ、人物の行動と心情を表現に即して読もうとしている。 ｂ：古文特有の語法に注意しながら、表現に忠実に解釈する。 ｃ：作品の文学史的価値、作者および作品世界の個性的な面について理解を深める。	a:行動の観察および 発表内容、態度。 b、c:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査
2	漢文	『赤壁賦』	○	◎	○	ａ：漢詩のリズムや表現の巧みさに関心を持とうとしている。 ｂ：表現に忠実に解釈し、論旨を正しくつかむ。表現効果について理解する。 ｃ：漢文特有の語法、語句について正しく知る。	a:行動の観察および 発表内容、態度。 b、c:ノートなどでの記述確認、小テストおよび定期考査
3	古文	『玉勝間』	○	◎	○	ａ：趣旨を理解している。 ｂ：文章表現の奥にある、体験や実例について考えを深める。 ｃ：作品の歴史的価値、作者の思想と業績について理解を深める。	a:行動の観察および 発表内容、態度。 b、c:ノートなどでの記述確認
3	古文・漢文	総合演習として様々な古典に触れ、精読し内容をまとめる。	○	◎	○	ａ：描かれている状況をつかみ、人物の行動と心情を表現に即して読もうとしている。 ｂ、ｃ：これまでの学習で培った知識を用いて論旨を的確に読み取り、全体の趣旨をとらえる。	a:行動の観察および 発表内容、態度。 b、c:ノートなどでの記述確認